

# MOV products

大阪のものづくりが産み出したイモノ大集合。  
奇抜なカタチやデザイン、機能美も豊かな製品を紹介。



大阪府内のものづくり中小企業の優れた技術・  
創造力にあふれた製品(消費財)を、「大阪製」  
としてブランド認証しています。  
<http://www.osakasei.m-osaka.com/>



## 最高級コットンの 感触が活かされた 日本製プレミアム・タオル。



毛足の長いロン  
グパイルのふっく  
らとした柔らかさ  
は、柔軟剤を必要  
としない。

**A** 日本タオル発祥の地、泉州で祖父が1971年に創業した会社を引き継いだ三代目、土井紀人社長。この道一筋に経験を重ねてきたタオルマイスターと呼ぶにふさわしい氏が、できあがった製品に触れた瞬間の実感がそのままネーミングになった「おう！ えーやん」。最高級コットンとして知られるスーパー綿にオフセットヤーンと呼ばれる特殊な撚りを施し、空気を含ませるざっくりとした繊維間のある織り方で作られた高級タオルだ。柔らかいタオルは数あれど「これほど肌触りと吸水性の良いタオルに仕上げるのには苦労しました」と土井社長は言う。実用性に重きをおく泉州タオル伝統の後晒しの手法を踏襲し、プレミアムな品質を備えながら普段使いのできるリーズナブルな価格設定も魅力。タオルの老舗が送り出すオリジナル商品の第一号となった。「使う人が笑顔になれる商品づくり」をモットーに、同社では次年度、「おう！ えーやん」とはまた質感の違う新しいブランドを展開する予定。

### 新興タオル株式会社

紡績糸メーカー、外注先のサイジングや晒し業者など、タオルを愛する人たちが気持ちを寄せ合ってものづくりを推進。自社栽培の綿を少量ブレンドし、社員皆の想いをタオルに込めている。

<http://www.shinko-towel.co.jp/>

●おう！ えーやん

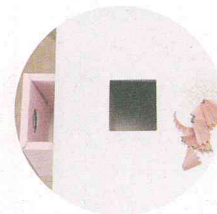
**B**

「役に立てるかもしれない」——。代表取締役社長、松田和人氏がそう考えたのは、東日本大震災直後の避難所の悩みを知った時だった。不足していたプライベートを守る間仕切りや女子更衣室、衣類を入れる簡易チェストなどを次々に段ボールで作り、被災地へ直接赴き届けた。そして、保育所が流されて園児が使う机が足りないという情報を耳にすると、段ボール製の幼児用デスクセットを考案。3ヵ月後、天面に水性ペンなどを拭き取れるフィルム貼り加工を施し、組み立ては工具を使わずにできる「おべんきょうごっこ」として被災地へ届けた。同氏は「梱包の役割しかなかった段ボールが、工夫をすれば価値の高い商品になると確信した」と語る。その後、リビング学習の必要性や、エコ素材が注目を集める中、改良を加えて商品化を実現した。現在は柄やサイズのバリエーション

### マツダ紙工業株式会社



## 幼児期のリビング学習に！被災者の要望から生まれた、エコ素材のデスクセット。



軽量ながら机と椅子の耐荷重は70kgを誇る。コイン遊び

